

建材マンスリー

The KENZAI Monthly

5

特集 住まいの「創エネ」新時代

For The Future

野村 友紀子さん

FRONT RUNNER

コミー株式会社

思い込みの先に意外なニーズがある

+Biz Topics

業界ニュース

住友林業ニュース

建材マンスリー資料室





2030年
2005年の

約40倍

住宅用
約1000万戸

1200

1050

900



2020年
2005年の

約10倍

住宅用
約320万戸

750

600

450

300

150

0



2008年より
2005年の

約10倍

住宅用
約32万戸

単位: 万戸

2005

2010

2015

2020

2025

2030

特集

新創住 時代 住まいの

今年3月に発生した東日本大震災により、「いつでも電力が使える暮らし」が当たり前でなくなり、今後日本の「エネルギー」に対する考え方が抜本的に見直されていくことが予想される。これまでCO₂削減や経済的側面から普及が促進されてきた太陽光発電システム(PV [Photovoltaic] system)も、蓄電池等とともに、「創エネ」の視点からの関心が高まっている。今回の特集では、特に太陽光発電システムを取り巻く状況、普及のための今後の課題について紹介。住まいにおける「創エネ」はどのような方向に向かって加速しているのか、探っていきたい。

「スマートハウスの現状と今後」

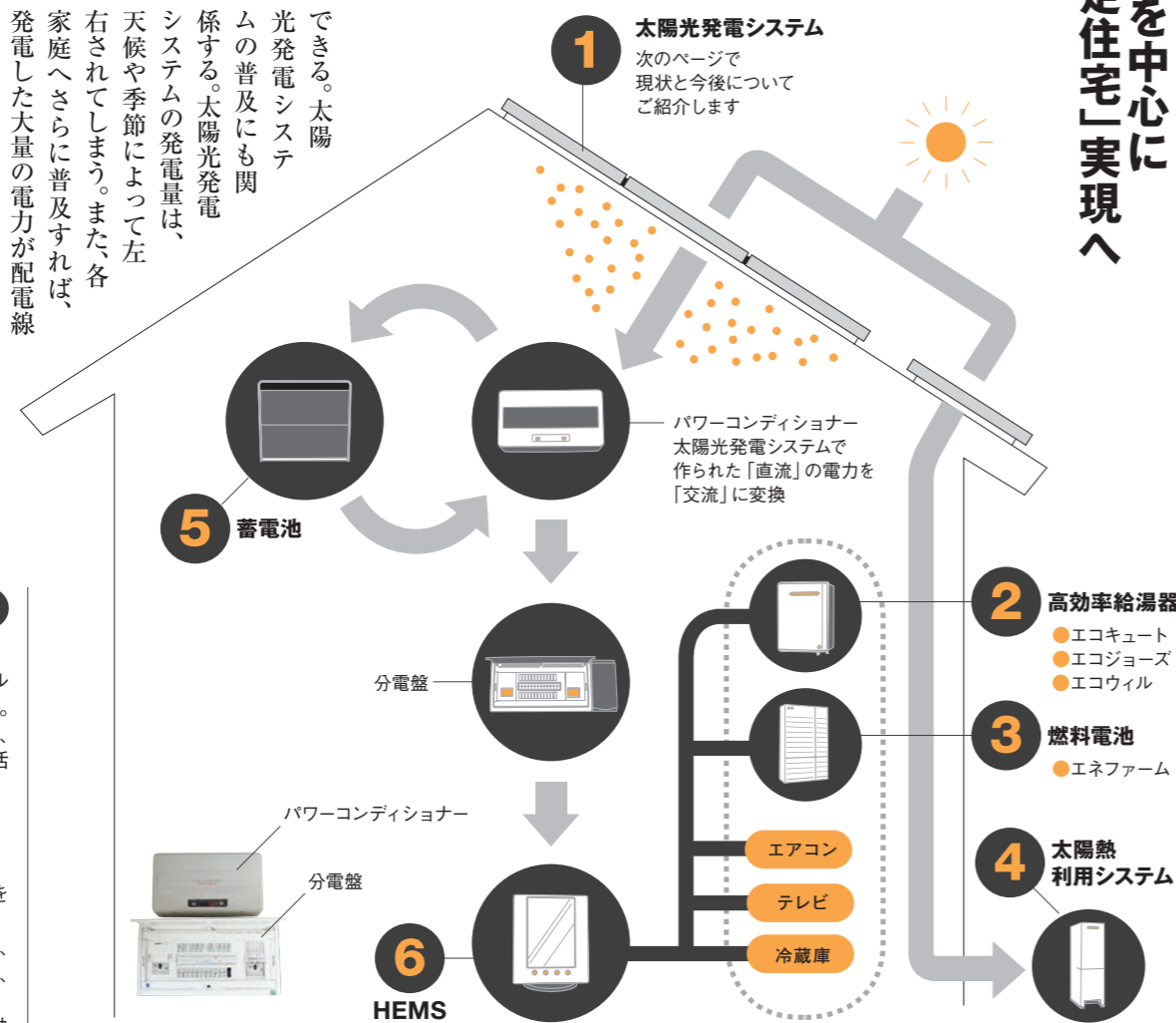
太陽光発電システムを中心に「エネルギー自給自足住宅」実現へ

エネルギー利用の最適化を図るために、「創る」「貯める」「制御する」といった3つの機能を持つ「スマートハウス」。その中でも、太陽光発電システムは、重要な「創る」の部分を担う(下図参照)。

現在は、3つのうち、「創る」は実現されているが、今年、家庭用蓄電池の発売が相次いで予定されており、各家庭ごとに太陽光発電システムで作ったエネルギーを「貯める」ことが可能になる見込みだ。

さらに今後は、「制御する」部分を担うHEMSが大きな進化を遂げていくと言われている。HEMSとは、家庭内の発電装置や家電をネットワークでつなぎ、効率的に無駄なくエネルギーを使えるように制御するシステムのこと。現在、スマートハウスの開発のために、住宅メーカー各社はHEMSを開発中。住友林業も東芝とともに、住宅のライフサイクルにおいてCO₂排出量がマイナスとなる「LCCM(ライフサイクルカーボンマイナス)住宅」を目指し、「住友林業の家」に適したHEMSを開発している。

将来、IT技術により通信機能や計算機能が付加された次世代送電網「スマートグリッド」を家庭オフィス、公共施設など、街全体に張り巡らす構想がある。実現すれば、電力の流れを双方から制御し、無駄なく安全に使うことが



創る

太陽光発電システム ①
太陽電池を用いて、太陽の光エネルギーを直接電気に変換する発電方式。石油や石炭などの化石燃料とは違い、太陽光という無尽蔵のエネルギーを活用するのが最大の特徴である。

高効率給湯器 ②
エネルギーの消費効率に優れた給湯器。
●エコキュート: ヒートポンプで大気熱を自然冷媒に集め、その熱で湯を沸かす。
●エコウィル: ガスエンジンで発電し、その際に排出される排熱を再利用し、同時に湯を沸かす。
●エコジョーズ: 湯を沸かす際の排熱を再利用することで、ガス使用量を削減できる。

燃料電池 ③
燃料を化学反応させて発生したエネルギーから、電力を取り出す装置。代表的なのが「エネファーム」。都市ガスから水素を取り出し、空気中の酸素と反応させて発電。その際に生ずる熱で湯を沸かす。

太陽熱利用システム ④
「強制循環型」のソーラーシステムと「自然循環型」の太陽熱温水器の2種類がある。ソーラーシステムは集熱器と湯を貯める部分に分離しているが、太陽熱温水器は集熱器と湯を貯める部分が一体になっている。

貯める

蓄電池 ⑤
現状 原発の事故による電力不足で、各社は来年以降予定していた家庭用リチウムイオン蓄電池の発売を、早める見込み。普及のポイントとなるコストダウン競争も加速している。また、電機メーカーだけでなく、家電量販店も今年4月より販売開始。



撮影地: 住友林業 ぬみなとみらい第2展示場(神奈川県横浜市)

チウムイオン蓄電池の発売を、早める見込み。普及のポイントとなるコストダウン競争も加速している。また、電機メーカーだけでなく、家電量販店も今年4月より販売開始。

今後 家庭用リチウムイオン蓄電池販売の本格化が見込まれている。低価格化、小型化を争点として、引き続き各企業の開発競争が激化すると予想される。

制御する

HEMS(※) ⑥
現状 太陽光発電システムによる発電量、各家電の電力使用量、CO₂排出量といった基本的機能だけでなく、電気料金の見込み、省エネのアドバイス、省エネ目標の達成状況などを機器の画面

に表示。家庭内のエネルギーを「見える化」し、ユーザーの意識向上を図る役目を担っている。また、エアコンや照明といった家電を外出先から携帯電話で操作することもできる。
今後 「見える化」に加えて「使う」「創る」「蓄える」を制御し、家庭のエネルギーを最適化する役目を担っていくと考えられる。各メーカーでは開発が進行中。例えば、室内にいる人が誰かをセンサーで特定し、その人の好みや体調に合わせて自動的に空調を制御したり、天候予測をもとに柔軟、的確に空調を制御するシステム開発の取り組みも始まっている。

※Home Energy Management System



一般社団法人太陽光発電協会 技術部長兼広報部長
亀田正明 氏

特集
住まいの
創エネ
新時代

太陽光発電協会に聞く

太陽光発電システムの「これから」

スマートハウスの中でも、エネルギーを「創る」部分を担う、太陽光発電システム。現在の普及状況、未来の市場予測、今後の課題などについて、太陽光発電協会の亀田氏に伺った。

補助金制度に加え、余剰電力買取制度が消費者の購買意欲を刺激

環境・経済的観点に加え、震災による電力不足により注目を集めている、太陽光発電システム。

実際の市場でも大幅な伸びを記録している。「日本における太陽電池総出荷量推移」(図1)を見ると、2000年からの10年間で10倍以上伸びており、順調に成長。一方、「太陽電池国内出荷用途別内訳」(図2)で住宅用を見ると、2005年に一時期停滞したものの、2009年に大幅にアップしている。この動きについて、亀田氏は「補助金制度の終了、新設の年

度とリンクしていることが分かります」と語る。

また、「2009年に『余剰電力買取制度』が始まったことも、急成長を促している要因の一つ」と亀田氏は言う。国が電力買取価格を法律で定め、今年度から住宅用は48円/kWhから42円/kWhに下がった(10年間適用)。太陽光発電システム市場で、ドイツが急成長した理由の一つとして

「フィード・イン・タリフ(FIT)」という固定価格買取制度があるが、その日本版とも言える。「一般的に、この制度は太陽光発電の普及とともに徐々に買取額が下がるため、日本でも今後下がっていく可能性ががあります。産業規模の拡大と同時に、メーカー努力によるコストダウンが進み、システム自体を安価で購入することができるようになるからです」

「グリッド・パリテイ」達成が普及を加速させる

今後、ビジョンの通り住宅用の太陽光発電システムをさらに普及させていくためには、「グリッド・パリテイ」を達成することが

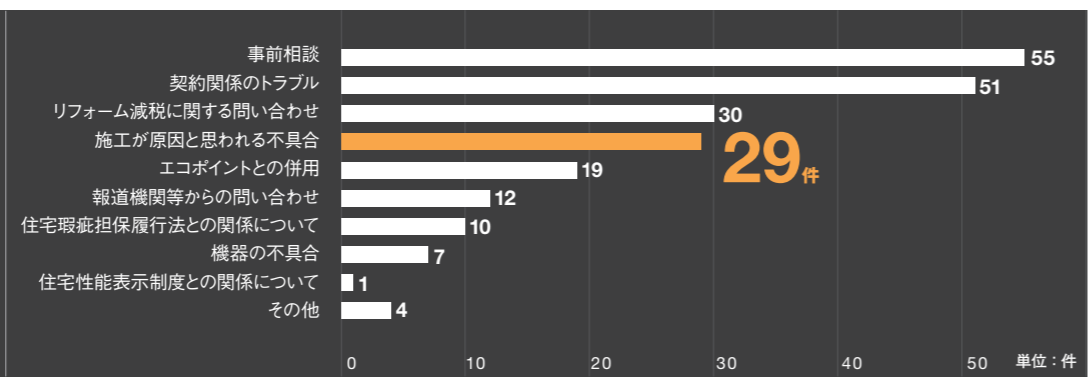
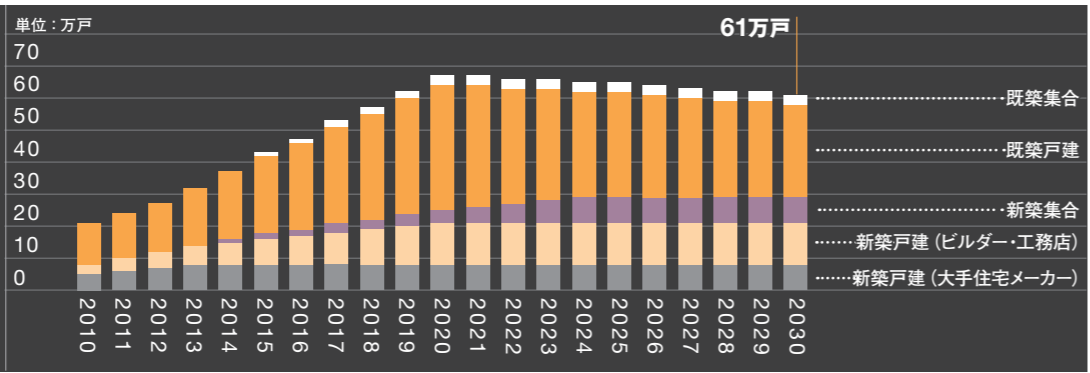
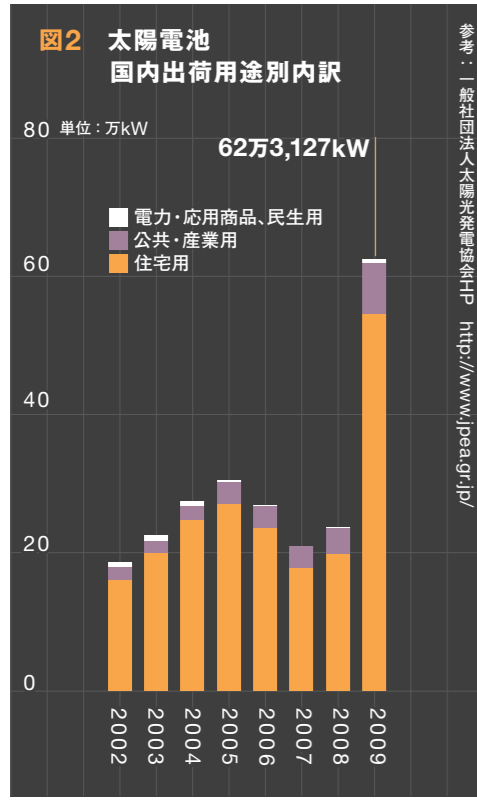
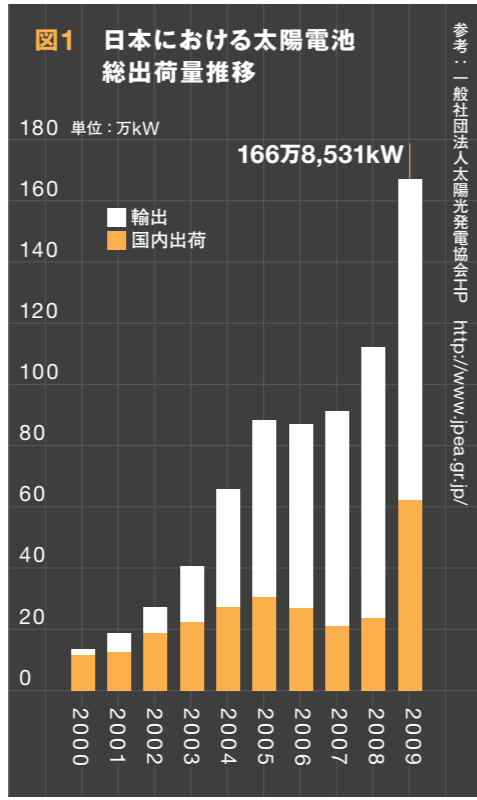
必要だ。グリッド・パリテイとは、発電コストが商用の発電コストと同等、もしくは安くなる状態のことである。「そのためには、システムのコストダウン、性能の向上の2点が必要」と亀田氏は語る。システムのあらゆる部分で総合的に取り組んでいくことが必要だが、中でも特に効果的なのは、システムを構成するパネル「太陽電池モジュール」の高性能化、低コスト化

について開発を進めることだ。太陽電池の種類には、多結晶シリコン、単結晶シリコン、薄膜系シリコン、化合物系などがある。「主流は結晶系シリコンです。一方で、シリコン量が少ないあるいはシリコン以外の低コストな薄膜系太陽電池の技術開発も進んでいます。太陽光発電システムに関する日本の技術力は、世界でもトップレベルです。高性能化や低コスト化

も着々と進められています」また、新築で太陽光発電システムを標準装備にすることも、普及の一策だ。「既築に設置するよりも、設置費が少なく済みます。構造的にも後から設置するより、工事が容易です。屋根のリフォーム時に設置するのも、効率的です」

設置には、施工の他に電気設備の知識も必要

普及を進めていく上で課題もある。それは、施工品質の問題だ。財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センターの「2010年度太陽光発電に関する相談の分類」(図4)を見ると、「施工が原因と思われる不具合」が数多く見られる。さまざまな太陽光発電パネルの施工による雨漏りの発生防止のため、国土交通省は2010年5月、施工上の留意点を「既存住宅売買及びリフォーム工事における瑕疵担保責任保険施工・検査基準(住宅用太陽電池モジュール設置工事編)」として取りまとめた。この基準は、リフォーム瑕疵保険の施工・検査基準として位置づけられたものだが、施工業者にとっても重要な留意点でもある。施工者



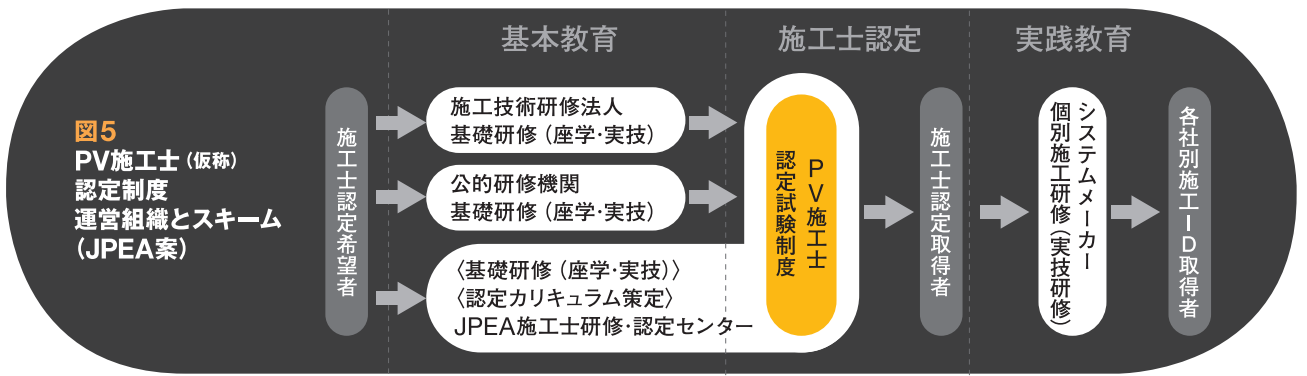


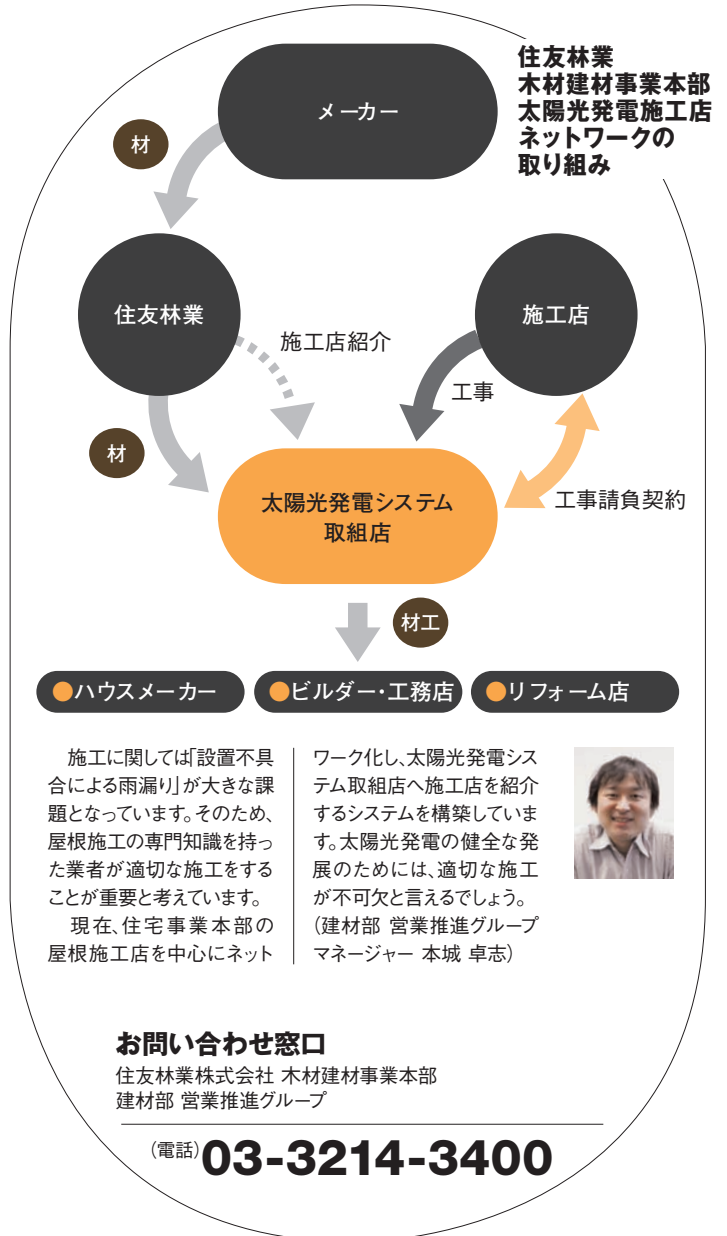
図5
PV施工士（仮称）
認定制度
運営組織とスキーム
（JPEA案）

は設置・施工に先立ち事前調査を行い、調査の結果工事箇所について雨漏りや屋根材・構造躯体の著しい劣化がみられた場合は、施工計画に補修内容を含むこととし、モジュール設置工事終了までの間に補修を行うこととしている。

また、屋根の形状によって施工の方法はさまざま、取り付けるのが難しいのも確かである。新しい分野の施工だけに、施工者のレベル、経験も問われる。「施工品質を高めるには、法規的、技術的に裏打ちされた設計施工マニユアルを完備することが必要。さらに教育された施工者がマニユアルに沿って正しく施工し、確実なチェックが行われるべきです」

そこで、JPEAでは、2012年度実施に向けて「PV施工士（仮称）認定制度」の検討を進めている。太陽光発電システムの施工全般に関する基本的な知識に加え、各種太陽電池の特性、取り付け構造や電気などのシステム設計の手法を座学で学習。さらに、設置工事の実技研修も受け、試験に合格した者に認定IDを発行する（図5）。実際の施工にあたっては各メーカーの研修を受け、施工IDも取得することが必要です。各メーカー固有の施工技

術の習得は必須。また、PV施工士認定ID、各システムメーカー認定IDを取得しても、すべて施工できるわけではありません。電気設備に関する知識も必要です」と、亀田氏は語る。施工には、電気工事士の資格を持つ者の協力、もしくは自ら電気工事士の資格取得が必要になる。「当協会では、制度の内容をよく吟味し、実用性の高いものにする一方で、消費者の皆様が安心していただけるようになると考えています」



エネルギーの全体最適は「ベストミックス」

原発事故により、太陽光発電協会にも「太陽光発電で電力を100%賄えないのか」とマスコミから数多くの取材依頼が来た。しかし、亀田氏は「その発想は極端すぎるのではないかと考えている。「確かに太陽光発電は発電時にCO₂も排出しませんし、化

石燃料と違って限りがない、素晴らしい発電方法です。一方で、太陽光は天気によって左右されるため、不安定な発電とも言えます。ただ、昼間の電力使用量がピークになるとができません。どの発電方法にもあるメリットとデメリットを理解し、エネルギーを時と場合に合わせて使い分けていくべきです。それが、エネルギーの全体最適を図る「ベストミックス」という、最も

施工に関しては設置不具合による雨漏りが大きな課題となっています。そのため、屋根施工の専門知識を持った業者が適切な施工をすることが重要と考えています。

現在、住宅事業本部の屋根施工店を中心にネット

ワーク化し、太陽光発電システム取組店へ施工店を紹介するシステムを構築しています。太陽光発電の健全な発展のためには、適切な施工が不可欠と言えるでしょう。（建材部 営業推進グループ マネージャー 本城 卓志）



お問い合わせ窓口

住友林業株式会社 木材建材事業本部
建材部 営業推進グループ

（電話）03-3214-3400



周囲の人々、社会の人々の
支えになりたい。それが、私の原動力。

木材建材業界の
未来を担う
若者たちを
クローズアップ。

For The Future

フォーザフューチャー



ゴウダ株式会社 大阪事業部
建材営業課 主任

野村友紀子さん

滋賀県出身。2005年、ゴウダ株式会社に入社し、大阪事業部へ配属。外壁施工、太陽光発電システムの販売・施工の営業担当として活躍中。現在は後輩の指導にあたっており、上司からは次期リーダーとして期待されている。休日は、ピアノの練習に没頭し、ストレス解消。曲目はポピュラー音楽からクラシックまで幅広い。また、友人とお酒を飲むのも大好きだそう。

大 学で建築学を専攻し、念願叶ってゴウダ株式会社に入社した野村さん。主に外装材等、住宅建材の加工・販売および施工を行う同社で、技術者としての勤務を予想していたところ、上司から営業配属が命じられる。野村さんは驚いたが、次の瞬間には、前向きな気持ちになれた。「営業の先輩に同行したとき、会社や業界のこと、将来のビジョンを熱く語ってくれたんです。その影響で『営業ってやりがいがありそう』と思えました」。

し かし、実際に担当してみると、なかなか先輩のようにうまくいかない。あるとき、建設会社のお客様に「塀の設置工事をお願いしたい」と頼まれた。社内に外壁施工部門はあるものの、外構の工事は専門外。「何とかしてお客様の期待に応えたい。でも、どこに頼んだら良いのか分からない……」。途方に暮れていると、施工現場の3軒隣りで、塀工事をしている他社の現場を偶然見つけた。気がついたら、野村さんは現場の職人さんに声をかけていた。「当社の物件の施工を

お願いできませんか?」。その職人さんは面識がないにもかかわらず、快く工事を引き受けてくれた。「とにかく『お客様のために何とかしなくては』という一心でした。その会社、職人さんとは今でも関係が続いています。今考えても、本当にありがたいと思いますね。何かあると社内外にかかわらず、いつも誰かが支えてくれる。この業界ならではの魅力かもしれませんね。これからは自分が後輩や会社、業界を支えていける存在になりたいですね」。

現 在は、約40社を担当。太陽光発電システムの営業にも注力している。日々、メーカーの勉強会に足を運んだり、営業の同僚から情報を得ながら、販路を広げているところだ。「今は、工務店さんもどう売ったら良いか迷っているし、消費者もどこの建設会社を信用したら良いのか分からない状態。だからこそ、私たちの存在価値が問われていると感じます」と野村さん。工務店の補助金申請をサポートをしたり、コストシミュレーションで消費者の不安を解消する取り組

みを実践するなど、東奔西走している。先日は、自分で工務店向けの勉強会を企画した。「太陽光発電システムは受注して設置するほど、エコにつながる。ひいては「地域とともに地球を守る」という会社の理念にも通じます」。環境ビジネスを通して、社会に貢献していきたい。以前、先輩が夢を語ってくれたときのように、野村さんも明確なビジョンを描き始めている。

10年後の 木材建材 業界を予想!

一般家庭への太陽光発電システム設置は、加速度を増していると思います。どれだけ普及するかは、現在も壁となっている「コストの負担感」軽減が鍵となるでしょう。当社では、固定価格買取制度が始まる前から販売に注力。提案や施工、補助金申請などのノウハウが蓄積されています。近い将来の目標は、全社で年間1,000棟の設置です! (野村さん)



●本社：埼玉県川口市並木1-5-13
 ●事業内容：「気くばりミラー」の製造販売
 ●代表者：小宮山 栄
 ●従業員数：30名
 ●売上高：5.3億円(2010年9月期)
 ●HP：http://www.komy.co.jp/

企業が成長するカギは常識にとらわれないこと。挑戦し続ける優良企業からビジネスヒントを学びます。



■ コミー株式会社

思い込みの先に 意外なニーズがある

代表取締役
小宮山 栄さん

航空業界の 両巨頭が採用 10万枚が 世界の空へ

世界初の総2階建て超大型旅客機、エアバス「A380」。同機に三菱重工、プリジストンなど世界に冠たる大企業と並んで自社製品が採用された企業がある。ミラーの製造・販売を手がける「コミー」だ。

飛行機の座席上の手荷物ボックス内に小さな鏡があるのを目にしたことはないだろうか。あの忘れ物防止の鏡こそ、ボーイング、エアバス両社が採用するコミーの看板商品「FFミラーAIR」だ。累計販売数は10万枚以上。コミーの名を知らなくても、飛行機の棚の鏡と言われればピンとくる方も多いだろう。

シェア8割の ヒット作は 現場を見たから 生まれた

ほかにコミーが国内8割と

いう圧倒的なシェアを誇る商品がある。コンビニや書店で見かける接客サービスと防犯用の「気くばりミラー」だ。この大ヒット商品は、小宮山社長のある経験がきっかけとなって誕生した。

話は30数年前に遡る。遊び心でつくったディスプレイ用の回転鏡に、とあるスパーから30個の注文が入った。「ディスプレイなら1つや2つあればいいのに、なぜ30個も？」。不思議に思った小宮山社長はさっそくスパーを訪問。現場を見て驚いた。その鏡が万引防止に使われていたのだ。今こそ防犯ミラーは一般的だが、当時はまだ珍しく、小宮山社長は、メーカーとユーザーの考え方の違いに新鮮な驚きを覚えた。

冒頭の「FFミラーAIR」にしても同様だ。忘れ物防止の触れ込みで売りに出した商品だったが、航空会社に話を聞いたところ、思いがけない事実を知った。「ボム・チェック」。航空会社の使用目的は手荷物ボックスに爆弾などが仕掛けられていないかをチェックすることだった。忘れ物だけでなく、テロを防ぐためだ。

「時として使い手は私たち作り手が考えもしない使い方をすることを学びました」と小宮山社長。「売れた！」と喜んでばかりいたら、事実を知ることができなかったでしょう。作り手の思い込みほど怖いものはありません。

こうした経験に基づき、コミーでは顧客への聞き取り調査を徹底している。作り手と使い手との間にあるギャップを埋めるためだ。(愛用者カードによる情報収集はもちろん、年1回、正社員はもとよりパートも含めた30人全員が2人1組になって顧客を訪問するという徹底ぶり。その際、こだわっているのが、実際に商品を使ってくれているユーザーに話を聞くこと。「商品が本当に役に立っているかを知るには、実際に使っている方に話を聞くのがいちばんです」と小宮山社長。

「無料貸し出し制度」もギャップを埋めるための仕組みの一つ。まずは無料で商品を貸し出し、実際に現場で使用してもらった上で、購入を検討してもらおう制度だ。もちろん全てのケースで成約に至るわけではない。それでも、

なぜ役立たないのかというユーザーのリアルな声が商品にさらなる磨きをかける。

「CS(Customer Satisfaction)というより、US(User Satisfaction)をいかに向上させるか。これがウチの考え方です。小宮山社長の言葉は、ユーザーではなく、ともしれば購入決定者や競合に目を向けがちな多くのメーカーへの警鐘にも聞こえる。

「なぜ?」を繰り返すことで本質に迫っていく

「なぜ」を繰り返そう。小宮山社長がつねに社員に発している言葉だ。

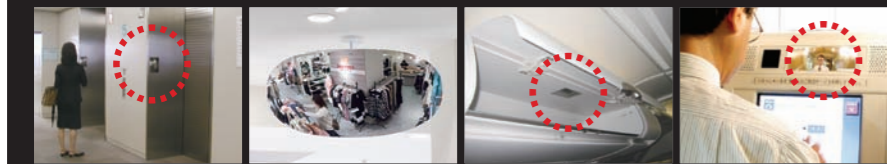
「なぜ、買ってくれたのか。なぜ、この仕事はこういうやり方なのか。社内外で何事に対しても常

に「なぜ」を繰り返すことで見えてくる本質があります。万引き防止ミラーも「なぜ」から生まれしました。今後も「なぜ」を繰り返したとえ商品が売れても安心することなく、商品が本当に役に立っているかをユーザーの声に耳を澄ましなが考え抜く。そこに活路があると信じています。商売の基本を徹底できる強さ。これこそコミーが市場を席巻し得た原動力の一つなのかもしれない。



- 朝の20分ミーティングの風景。メンバー同士で「なぜ?」が飛び交う
- 製造するミラーの種類は特注品を含めると300を超える。「多品種・少量・短納期が当社の生きる道」と小宮山社長
- オフィスには「!? (なぜ)」のマークが
- 一人が最初から最後まで組立てるセル生産方式を採用
- オフィスの至るところにミラーが。さながらショールームのようだ
- 航空宇宙産業の品質規格「AS9100」認証を取得済み
- コミーの商品はガラスの30倍もの強度があるアクリル製。万が一、割れても無償で交換。保証期間は無期限だ
- 完成在庫を持たない受注生産で対応。梱包用の段ボールもメーカーと生産計画を共有した結果、当日の発送分だけを納品してもらう仕組みを整え、在庫ゼロを実現
- 「国際管学会」の理事長でもある小宮山社長。学会のメンバーは各業界の専門家。人脈を生かして商品のネーミングなど、さまざまな面で相談に乗ってもらっているという

こんなところにコミー!



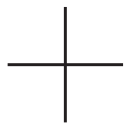
- エレベータートビラによる挟み込みを防止
- コンビニや書店などの各店舗万引きを防止
- 飛行機の手荷物入れ忘れ物を防止(FFミラー AIR)
- 銀行のATM暗証番号の覗き見を防止

コミーに学ぶユーザーとの向き合い方

ユーザーとの向き合い方

- 1 「作り手の思い込み」は禁物**
時に使い手は、作り手を上回る発想をする。作り手の思い込みがチャンスを限定する。
- 2 使い手の役に立ってなんぼ**
購入決定者に喜ばれてもユーザーの役に立たなかったら、取引は持続しない。ましてや競合に勝った、負けたの議論は不毛。
- 3 売れたその後が大事**
売れたと喜んでいたら進歩なし。大切なのは「なぜ、売れたか」を考えること。その追求が次につながる。





業界ニュース

国土交通省発表

住宅エコポイント 着工対象期間 7月末までに短縮

国土交通省は5月13日、エコ住宅の新築や改築を行った場合に最大32万円分のポイントが付与する「住宅版エコポイント」制度の期限を、5カ月間短縮し、今年7月末までとすると発表した。想定を上回るペースで申請が行われており、4月末時点で新築30万戸、リフォーム36万戸、合計

66万戸に達している。国交省は今年1月、住宅用太陽熱利用システム、節水型便器、高断熱浴槽を対象にポイントを拡充していた。ポイントの申請期限（新築二戸建ては2012年6月末）、交換期限（2014年3月末）の変更はない。

工事の種類	建物の種類	ポイントが 発行される工事の 対象期間【短縮】	ポイントの 申請期限 【変更なし】	ポイントの 交換期限 【変更なし】
新築	一戸建ての住宅	変更前 2011年12月31日までに 着工した新築工事	2012年 6月30日	2014年 3月31日
	共同住宅等 (階数が10以下)	変更後	2012年 12月31日	
	共同住宅等 (階数が11以上)	2011年7月31日までに 着工した新築工事	2013年 12月31日	
リフォーム	一戸建ての住宅 ・共同住宅等	変更前 2011年12月31日までに 着手したリフォーム工事	2012年 3月31日	
		変更後 2011年7月31日までに 着手したリフォーム工事		

詳しくはこちらを
参照ください



住宅エコポイント事務局

<http://jutaku.eco-points.jp/>

住友林業ニュース

グループ会社のリンバ・パーティクル・インドネシア社 インドネシア初 木質バイオマス発電による CDM事業の排出枠を取得

住友林業のグループ会社で、インドネシアでパーティクルボード製造を行うPT LIMBA PARTIKEL INDONESIA(社長:川浪聡)以下、RPI社)は、インドネシア初の木質バイオマス発電によるCDM(※1)事業として、国連のCDM理事会に登録されていたが、2011年3月1日付けで、温室効果ガスの削減クレジットであるCER(※2)が国連より発行された。

RPI社は、インドネシアにおいて製材廃材や植林木を原料としたパーティクルボードの製造、販売を行っている。同社では、自社で製造するパーティクルボードの環境価値向上を目指し、事業活動によるCO₂排出量を削減する取り組みを実施。従来使用していた化石燃料エネルギーを、再生可能エネルギーへ代替する事業をCDMとして申請し、2008年5月23日付で、国連のCDM理事会により承認、登録された。

今回国連から発行されたCERは、2009年1月から12月までの1年間で、発行量は10,982t-CO₂。CER

には、一般的にフロンガスや窒素酸化物削減に由来するものや、水力や風力などのクリーンエネルギー利用によるCO₂削減に由来するものの比率が高くなっているが、今回、RPI社の取り組みに対して発行されたのは、発行実績が少ないバイオマスエネルギー利用によるCER。RPI社では、木質バイオマス専焼の発電設備を新規に導入し、ディーゼル燃料を木質バイオマスに代替することでCERの取得を実現している。

今回発行されたCERは、住友林業グループの地球温暖化対策への活用や、環境問題やCSRに切り組む企業へ販売を行う予定で、様々な用途に応じた排出枠の取り扱いを推進していく。

(※1) Clean Development Mechanism (通称: クリーン開発メカニズム)。先進国が開発途上国において技術・資金等の支援を行い、温室効果ガス排出量の削減または吸収量を増加する事業を実施した結果、削減できた排出量の一定量を先進国の温室効果ガス排出量の削減分の一部に充当することができる制度。

(※2) Certified Emission Reduction。CDMのルールに則って温室効果ガスを削減し、その排出削減量に基づき発行される国連に認証されたクレジット。

編集後記

from editor



夏場の電力不足に対する懸念から「緑のカーテン」に注目が集まっているようだ。ヘチマやゴーヤ等を窓際に育てて日差しを遮り室内の温度上昇を抑えるというものだ。種や苗を住民に配布している自治体もあるとか。我が家でも昨年自宅でトライして

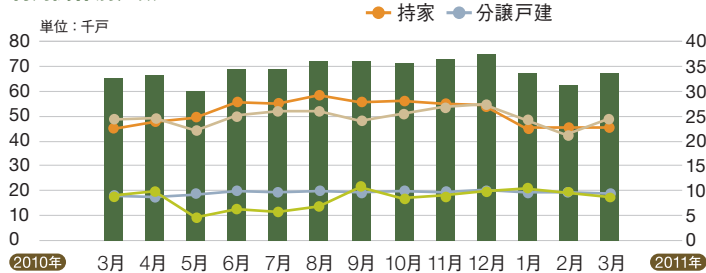
みたが、想像以上の効果には驚かされた。しかも育てて食す楽しみもあって小学生の息子も大喜び。ご興味のある方は今夏ぜひ挑戦されては。ただし、ゴーヤは収穫する「タイミング」を逃すと、熟しすぎて破裂してしまうのでご注意ください。



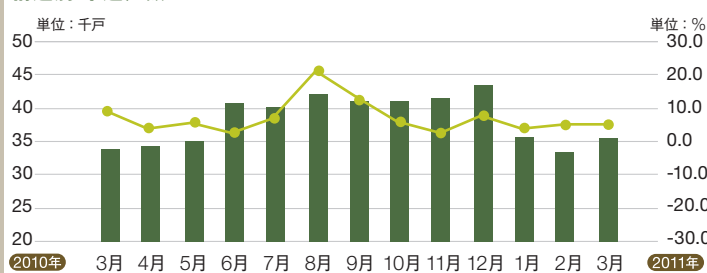
【2011年3月の新設住宅着工】 △は減

		3月					2月	1月	12月 (2010年)
		対前月比 (戸) (%)		対前年同月比 (戸) (%)					
新設住宅計		63,419	1,167	1.9	△1,589	△2.4	62,252	66,709	74,517
建築主別	公共	2,016	778	62.8	△1,018	△33.6	1,238	1,106	1,116
	民間	61,403	389	0.6	△571	△0.9	61,014	65,603	73,401
利用関係別	持家	22,863	737	3.3	882	4.0	22,126	22,299	26,871
	貸家	21,763	923	4.4	△2,292	△9.5	20,840	23,989	27,115
	給与住宅	689	247	55.9	△972	△58.5	442	518	559
	分譲住宅	18,104	△740	△3.9	793	4.6	18,844	19,903	19,972
	うちマンション	8,670	△750	△8.0	△117	△1.3	9,420	10,435	9,731
	うち戸建	9,324	△58	△0.6	820	9.6	9,382	9,377	10,183
資金別	民間資金	52,421	195	0.4	△2,246	△4.1	52,226	56,407	62,840
	公的資金	10,998	972	9.7	657	6.4	10,026	10,302	11,677
	公営住宅	1,712	919	115.9	△155	△8.3	793	920	651
	住宅金融機構融資住宅	6,016	△33	△0.5	1,688	39.0	6,049	6,230	7,152
	都市再生機構建設住宅	0	△307	△100.0	△502	△100.0	307	97	47
	その他住宅	3,270	393	13.7	△374	△10.3	2,877	3,055	3,827
構造別	木造	35,425	1,893	5.6	1,478	4.4	33,532	35,740	43,600
	非木造	27,994	△726	△2.5	△3,067	△9.9	28,720	30,969	30,917
	鉄骨鉄筋コンクリート造	665	217	48.4	△834	△55.6	448	575	886
	鉄筋コンクリート造	18,221	310	1.7	△859	△4.5	17,911	18,040	16,678
	鉄骨造	9,006	△1,243	△12.1	△1,355	△13.1	10,249	12,257	13,227
	コンクリートブロック造 その他	51 51	△19 9	△27.1 21.4	15 △34	41.7 △40.0	70 42	51 46	87 39

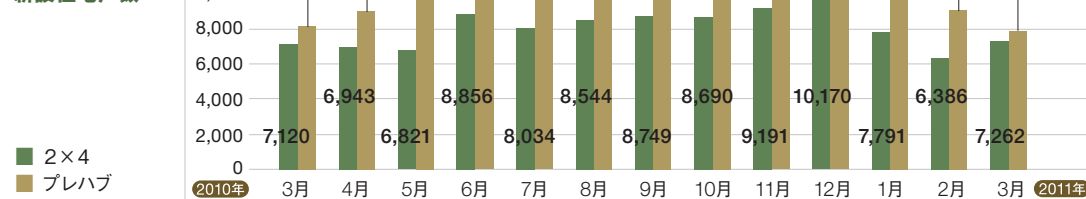
利用関係別戸数



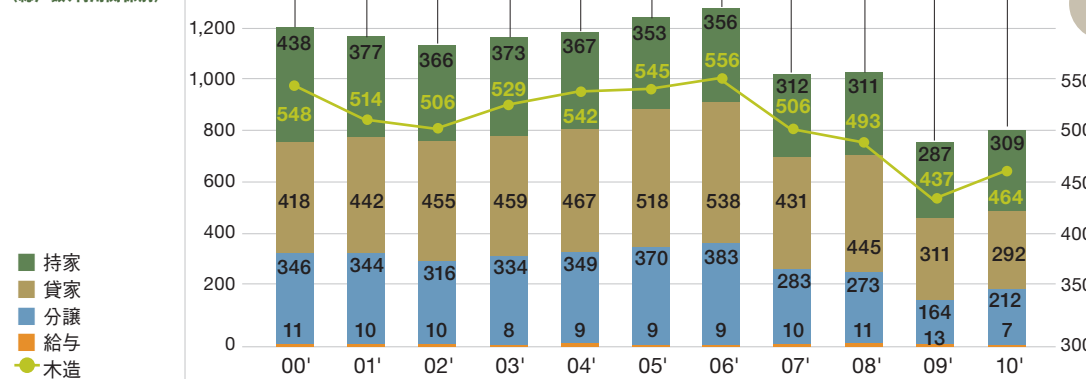
構造別 木造戸数



枠組壁工法
(ツーバイフォー)・
プレハブ
新設住宅戸数



新設住宅
着工戸数の推移
(総戸数・利用関係別)



**2010年度
新設住宅着工戸数
前年度比
プラス5.6%の
819,020戸**

2010年度計(2010年4月～2011年3月)の新設住宅着工戸数は819,020戸。2009年度計(775,277戸)比+5.6%、戸数で+43,743戸、2年ぶりのプラスとなった。3月度の総数は63,419戸。前年同月比で2.4%減と10カ月ぶりの減少。持家と分譲は増加したが、貸家が減少したため、全体で減少となっている。

東日本大震災の被害が大きかった岩手県(同30.1%減)福島県(同21.0%減)宮城県(同13.9%減)は、いずれも大きく落ち込んだ。

みんなの家、きこりんの家。

自分の家づくりで、地球環境の役に立てる。
それが木の家、きこりんの家です。
きこりんの家づくりは、森に木を植えることから始まります。
植えて育てて、その木を家づくりで活かし、また植える。
この循環が、森を健康にします。
健康な森は、地球温暖化を進めるCO₂の吸収量もたっぷり。
動物たちの良き住みかにもなります。
地球と木と家とあなたがいっしょに生きる。
家づくりは今、新しい価値へ。

きこりん品質。住友林業の家

I'm Tree

人の手で育てられる。
環境にもいい。
木は、すごい資源だよ。

みんないっしょなら、
理想の未来がつかれるさ。

I'm Earth

私を暑くするCO₂を
どうにか減らしてほしい。

I'm House

木の家は、強くても長持ち、
地震にも強いよ。

I'm Human

体にいいし、気持ちもやすらぐ。
住むなら、木の家がいいなあ。



きこりんと、地球のなかまたち。



森のちからを、未来のちからに。

住友林業

※住友林業の家は、建てられた家の延床面積の2倍の土地に植林することで建築時に出たCO₂をオフセットしています。

→ ウェブで [「きこりんの森」](#) と検索してください。 住友林業株式会社 〒100-8270 東京都千代田区大手町1-3-2 (経団連会館)

